

国際学術シンポジウム「東アジアにおける漢文学の研究」開催のご案内

拝啓

初夏の候、先生におかれましては時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年来、漢字文化圏における漢文学に対する関心がますます高まり、注目すべき研究業績が多数誕生しつつあります。これらの研究成果を分かち合い、研究者同士の交流の場を提供すべく、浙江工商大学と二松学舎大学は、標題テーマの国際学術シンポジウムを共同して開催する運びとなりました。それは2006年に杭州で共催した「ブックロードと文化交流」というシンポジウムに続く新たな学術シンポジウムで、お忙しいこととは存じますが、本シンポジウム開催の趣旨をご理解いただき、なにとぞご参加を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

敬具

2011年6月吉日

浙江工商大学日本語学文化学院

院長 王 宝平

二松学舎大学日本漢文教育研究プログラム

リーダー 佐藤 進

記

メインテーマ： 東アジアにおける漢文学の研究 その回顧と展望

サブテーマ： 漢文学の定義と研究法

東アジア各国の漢文学研究の歴史

東アジア各国の漢文学研究の現状

東アジア各国の漢文学研究の展望

東アジア各国の漢文小説の研究

その他

国際学術シンポジウム「東アジアにおける漢文学の研究」開催要領

1. テーマ

「東アジアにおける漢文学の研究 その回顧と展望」

2. 日程

2011年10月28日(金) 杭州到着
29日(土) シンポジウム
30日(日) 午前：シンポジウム
午後：現地見学
31日(月) 杭州出発

3. 会場

浙江工商大学下沙校区(中国 浙江省杭州市)

4. 応募手順

参加希望者は、次の締切を厳守のうえ連絡先までお送り下さい。

申込書：2011年6月30日

報告要旨：同9月10日(word形式、日本語はMS明朝、中国語は宋体、1千字程度、
日本語と中国語とどちらでもよい)

報告全文原稿：同10月5日(word形式、日本語はMS明朝、2万字程度、中国語は
宋体、1万5千字程度日本語と中国語とどちらでもけっこうです)

* シンポジウムの後、論文集を出す予定です。

5. 使用言語

中国語または日本語

6. 招聘状

2011年7月上旬までに、とりまとめのうえ正式な招聘状を発行します。

7. 費用

報告者に限り、開催者側で一部費用を負担させていただきます。

なお、詳細につきましては、改めてご連絡いたします。

8. 連絡先

〒310018 中華人民共和国浙江省杭州市下沙高教园区学正街18号

浙江工商大学日本語言文化学院 江 静

電話：0571 2800-8379

E-mail：kouseyi@126.com

「東アジアにおける漢文学の研究 その回顧と展望」

国際学術シンポジウム参加申込書

氏名 (ローマ字)	
所属・職名	
連絡先:住所 電話 メール	
報告題目 (予定)	

- * メールでのお申し込みもできます。
- * 参加申込書が届いた確認として必ずメール等の方式で「受け取り」の返事を致しますので、確認メールがない場合は再送をお願いします。